

平成26年度  
決算説明資料

教育委員会

# 目 次

	頁
1 なごや子ども応援委員会の活動事例について	・・・ 1
2 なごや子ども応援委員会設置校からの主な意見について	・・・ 2
3 不登校児童生徒数について	・・・ 3
4 小・中学校における暴力行為について	・・・ 4
5 看護介助員等の配置について	・・・ 4
6 特別な教育的ニーズのある児童生徒数について	・・・ 5
7 個別の教育支援計画及び個別の指導計画について	・・・ 6
8 特別支援学校の学級数及び児童生徒数等について	・・・ 9
9 特別支援学校高等部普通科の生徒数等について	・・・ 10
10 特別支援学校における普通教室に転用した特別教室等の数について	・・・ 10
11 肢体不自由者のための特別支援学校設置に関する愛知県への要望の経緯について	・・・ 11
12 小・中学校における非構造部材の耐震性について	・・・ 12
13 生涯学習センター及びスポーツ施設の耐震化について	・・・ 13
14 志段味図書館の指定管理者の収支について	・・・ 14
15 志段味図書館指定管理者検証委員会の主な意見について	・・・ 15
16 博物館・科学館・美術館の特別展について	・・・ 16
17 他都市の博物館・科学館・美術館の来館者数について	・・・ 20

# 1 なごや子ども応援委員会の活動事例について

区 分	内 容
<p>スクール カウンセラー</p>	<p>○過去にいじめ体験を持ち心身ともに不安定な生徒に対し、心理カウンセリング、保護者の心のケア、医療など専門機関へのつなぎ、進路の相談などを年間通じて行った。</p> <p>○いじめについて学んだり、全校生徒へのアンケートを実施し いじめ防止のスローガンを作成したりするなどの生徒会の取り組みについて、カウンセラーの視点から支援した。</p>
<p>スクール ソーシャル ワーカー</p>	<p>○校内のケース会議で虐待の可能性を指摘し、役割分担を明確にした。その後、学校から虐待通告し、区役所始め関係機関による区サポートチーム会議に参加し、関係機関と連携しながら生徒を見守った。</p> <p>○家庭環境に問題がある不登校の生徒に対し、家庭訪問により本人を励まし、野外学習に参加させた。その後も継続的に家庭訪問を行い登校の働きかけをした。</p>
<p>スクール アドバイザー</p>	<p>○仲間はずれや暴言を発端とした児童同士のトラブルの事案で保護者間の意見の相違に対し、保護者の意見や要望を聞き取り関係改善を図った。</p> <p>○生徒・保護者・学校・地域が参加する「心の教育講演会」において生徒主体のシンポジウムを企画実施し、問題を未然に防止する取り組みを進めた。</p>
<p>スクール ポリス</p>	<p>○通常の見守り活動の中で気になった非行傾向のある生徒と面談を行い、卒業後の進路に向けた考え方や生活態度について、継続的に指導した。</p> <p>○メールを使ったいじめが発生した学校で所轄警察署と協力して児童・保護者を対象とした講座を開催し、インターネットやメールによるトラブルや依存症などの問題と対応について啓発した。</p>

## 2 なごや子ども応援委員会設置校からの主な意見について

区 分	内 容
成 果	<p>○担任の家庭訪問や面談が難しい不登校のケースにも、時間帯やタイミングを見計らって訪問することで、保護者との関係をつくることができ有効だった。</p> <p>○区役所・保健所・警察等からの情報を得たり、連携したりする必要のある際に、子ども応援委員会の専門性を生かした素早い対応ができ有効だった。</p> <p>○教員がいじめについて指導し、一定の解消が図られた後も子ども応援委員会が引き続き経過観察や見守りを行い、安心感があった。</p> <p>○教員の目が届きにくい時間帯や場所をカバーして活動することで、児童生徒を見守る目が増えた。</p>
要 望	<p>○子ども応援委員会との情報交換やケース会議に十分な時間を確保するため、効率的・効果的な方策を考える必要がある。</p> <p>○いじめや問題行動の予防的な取り組みを積極的に企画し、教員と意見交換を図り、具体的な取り組みを進めてほしい。</p> <p>○子ども応援委員会スタッフに対する研修内容や時間数を精選し、校内での活動を充実させてほしい。</p>

### 3 不登校児童生徒数について

(単位：人)

区 分		25年度	26年度
東部方面 [ 千種区、昭和区 瑞穂区、名東区 天白区 ]	小学校	142	147
	中学校	353	379
	小 計	495	526
西部方面 [ 中村区、中区 熱田区、中川区 ]	小学校	109	118
	中学校	306	328
	小 計	415	446
南部方面 [ 港区、南区 緑区 ]	小学校	140	142
	中学校	395	428
	小 計	535	570
北部方面 [ 東区、北区 西区、守山区 ]	小学校	134	128
	中学校	372	381
	小 計	506	509
計	小学校	525	535
	中学校	1,426	1,516
	計	1,951	2,051

#### 4 小・中学校における暴力行為について

(単位：件)

区 分	25年度	26年度
小学校	21 ( 2)	13 ( 7)
中学校	66 (44)	42 (33)
計	87 (46)	55 (40)

(注1) 学校から報告のあった件数を掲げた。

(注2) ( ) 内は文部科学省の基準により報告した件数を掲げた。

#### 5 看護介助員等の配置について

##### (1) 看護介助員

(単位：人)

区 分	必 要 数	配 置 数
看護介助員	5	5

(注) 必要数は終日看護・介助が必要な児童数を掲げた。

##### (2) 学校生活介助アシスタント

(単位：人、時間)

区 分	申 請 数	配 置 数
人 数	105	105
時 間	40,197	37,000

## 6 特別な教育的ニーズのある児童生徒数について

(単位：人)

区 分		児童生徒数
特別支援学校	小学部	172
	中学部	177
	高等部	605
特別支援学級	小学校	1,213
	中学校	726
通級指導教室	小学校	483
	中学校	29
通常の学級	小学校	4,300
	中学校	982

(注1) 通常の学級以外については、平成25年5月1日現在の児童生徒数を掲げた。

(注2) 通常の学級については、平成25年9月に学校を対象に実施した発達障害の可能性のある児童生徒数に関する調査結果の数値を掲げた。

# 7 個別の教育支援計画及び個別の指導計画について

## (1) 教育委員会が示した様式例

### ア 個別の教育支援計画

個別の教育支援計画		H 年度 学年	H 年度 学年	H 年度 学年
氏名	性別	生年月日	住所	Tel Fax
	男・女	H 年 月 日		
保護者氏名	家族構成	発達検査等		
入学前経歴		性格・行動の特徴		
願 い ・ 展 望	本人及び保護者			
	希望進路			
教 育 的 支 援	課題及び支援の手だて		成果等	
	年			
	年			
関 係 機 関 に よ る 支 援	現状・課題・支援目標・内容等		連絡先・担当	
	医療			
	福祉			
	教育			
	地域 その他			
評 価 と 今 後 の 課 題	学年	学年	学年	
	H 年 月 日 記入者	H 年 月 日 記入者	H 年 月 日 記入者	

イ 個別の指導計画

学年・組		年 組		児童名					
児童の 状態像 ○を付け記 入する→		学習							
		行動							
		対人関係							
本人・保護者の 願い								備 考	
担任の考え									
支援の内容						(下のコード番号から書き込む)			
No	教科	開始日	終了日	曜日	時限	支援形態	学習形態	学習内容	場所
1									
2									
3									
4									
5									
6									
No	実態 (目標)			支援の方法			変容 (評価)		
支 援 コ ー ド 番 号									
支援形態		学習形態		学習内容		場 所			
1: 担任の配慮		1: 一斉		1: 同じ内容		1: 通常の学級			
2: 複数の教員		2: グループ		2: 一部別内容		2: 特別な場所			
3: 取り出し		3: 個別		3: 別内容		3: 障害児通級指導教室			
4: 専門家の協力		4: コース別				4: 交流及び共同学習			
5: その他		5: その他		5: その他		5: その他			

(2) 学校が使用している様式例

祝

平成 ( ) 年度 個別の指導計画

平成 年 月 日作成

学年	児童 生徒 氏名	作成者		所属	小学校
				職名	
本年度の目標	支援の手だて				
願い					
場面	短期の目標	主な支援場面 (担当者)	具体的支援	評価	
学習上の支援					
生活上の支援					
経過記録					
次年度への 引継ぎ 事項					

・本シートは1年更新とする。なお、追記は随時行う。  
・本人の気持ちを大切に無理のない支援方法を考え、記載する。

## 8 特別支援学校の学級数及び児童生徒数等について

(単位：学級、人、%)

区 分		17年度	25年度	26年度
学 級 数	小学部	36	41	42
	中学部	26	36	39
	高等部	38	67	69
児童生徒数	小学部	170	172	182
	中学部	120	177	188
	高等部	315	605	657
卒業生数	小学部	32	31	48
	中学部	45	66	61
	高等部	101	174	209
就職者数	高等部	24	42	49
就職率	高等部	23.8	24.1	23.4

(注1) 学級数、児童生徒数は、各年度5月1日現在のものを掲げた。

(注2) 訪問教育学級、重複学級を除く。

## 9 特別支援学校高等部普通科の生徒数等について

(単位：人、学級)

区 分	生徒数	学級数	1学級平均	
名古屋市立	西	165	17	9.7
	南	218	23	9.5
	天 白	58	6	9.7
	守 山	136	14	9.7
愛知県立	み あ い	107	14	7.6
	一 宮 東	175	24	7.3
	半 田	221	29	7.6
	春 日 台	200	27	7.4
	豊 川	250	32	7.8
	安 城	221	28	7.9
	いなざわ	121	17	7.1
	佐 織	120	17	7.1
	三 好	207	27	7.7

(注) 訪問教育学級、重複学級を除く。

## 10 特別支援学校における普通教室に転用した特別教室等の数について

(単位：室)

区 分	17年度	26年度
特別教室等	8	27

(注) 転用した特別教室等は図書室、音楽室、教材室、印刷室等である。

## 1.1 肢体不自由者のための特別支援学校設置に関する 愛知県への要望の経緯について

区 分	内 容
15年度	愛知県教育委員会に対し、「県費補助等に関する要望書」において、肢体不自由者のための特別支援学校新設の要望を開始
24年度	愛知県に対し、「名古屋市の行財政に対する県費補助及び県の施策等に関する要望」において、肢体不自由者のための特別支援学校新設の要望を開始
25年度	愛知県教育委員会が、「愛知県特別支援教育推進計画」を策定
26年度	愛知県及び愛知県教育委員会に対する要望事項について、「新設」から「新設の早期実現」に変更し、引き続き要望を実施

○参考 愛知県特別支援教育推進計画（抜すい）  
（特別支援学校の整備）

三好特別支援学校の教室不足を解消することと、名古屋東部地域の肢体不自由特別支援学校への長時間通学を解消するために、三好特別支援学校の通学区域内に知的障害及び肢体不自由に対応した特別支援学校の設置を検討します。

## 1.2 小・中学校における非構造部材の耐震性について

(単位：棟)

区 分		体育館	格技場	講 堂
保有棟数		372	108	4
吊り天井	耐震性有	371	53	2
	耐震性無	1	55	2
窓ガラス	耐震性有	372	99	4
	耐震性無	—	9	—
照明器具	耐震性有	15	53	2
	耐震性無	357	55	2
バスケット ゴール	耐震性有	299	—	—
	耐震性無	73	—	—
その他	耐震性有	305	—	—
	耐震性無	67	—	—

(注) 窓ガラスについては、校舎1, 116棟のうち、687棟(62%)で耐震性がある。

### 1 3 生涯学習センター及びスポーツ施設の耐震化について

#### (1) 窓ガラス飛散防止対策

(単位：館)

区 分	施設数	実施済
生涯学習センター	16	4
スポーツ施設	15	6

(注) 避難所に指定されている施設を掲げた。

#### (2) 吊り天井落下防止対策

(単位：館)

区 分	施設数	実施済
生涯学習センター	2	—
スポーツ施設	13	—

(注1) 避難所に指定されている施設を掲げた。

(注2) スポーツ施設のうち、露橋スポーツセンターについては26年度に調査を実施した

## 1 4 志段味図書館の指定管理者の収支について

### (1) 収入

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算
指 定 管 理 料	36,957	36,957
自 主 事 業 収 入	330	52
計	37,287	37,009

### (2) 支出

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算
人 件 費	24,305	30,590
外 部 委 託 費	2,816	2,719
一 般 管 理 費	1,272	1,131
光 熱 水 費	2,624	2,773
賃 借 料	480	304
修 繕 費	584	586
備 品 費	31	—
事 業 経 費	136	373
そ の 他	5,039	1,698
計	37,287	40,174

## 1 5 志段味図書館指定管理者検証委員会の主な意見について

区 分	内 容
基本事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平等利用、情報保護、緊急時対応等、公共施設として果たすべき役割をおおむね適切に遂行していた。</li> <li>○手厚く柔軟な人員配置は評価できる。</li> </ul>
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の維持管理はおおむね適切に行われていた。</li> <li>○館内の美化やボランティアの積極的な活用等により、利用環境の向上に努めていた。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸出等の基本的業務はおおむね適切に行われ、サービスの低下は見られなかった。</li> <li>○利用実績は直営時の水準をおおむね維持した。</li> <li>○展示や広報が充実しており、評価できる。</li> <li>○民間ならではのアイデアをもっと前面に出してほしい。</li> </ul>
経費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス向上を図りながら、より効率的な運営を行わなければならない。</li> <li>○人件費が赤字ではあったが、無理な人員削減等を選択しなかったことは評価できる。</li> </ul>
全体意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の適切な管理・指導のもとであれば、指定管理者制度は導入できる。</li> <li>○収支バランスの健全化が必要である。</li> <li>○複数館での試行、中長期的な運営の継続性の検証等、新たな視点での試行・検証が必要である。</li> </ul>

## 16 博物館・科学館・美術館の特別展について

### (1) 平成25年度

区分	展覧会名	入場者数	1日平均
博物館	日中国交正常化40周年特別展 中国 王朝の至宝	57,054	1,097
	マジックの時間	30,624	851
	奥三河のくらしと花祭・田楽	8,662	234
	文字のチカラー古代東海の文字世界ー	10,491	284
	計	106,831	659
科学館	ドラえもんの科学みらい展	123,179	2,800
	深海たんけん!	136,660	3,504
	計	259,839	3,131
美術館	名古屋市美術館開館25周年記念 上村松園展	100,601	2,647
	はじめての美術絵本原画の世界2013	35,787	1,118
	あいちトリエンナーレ2013国際美術展	75,276	1,075
	ハイレッド・センター :「直接行動」の軌跡	4,819	124
	親子で楽しむアートの世界 遠まわりの旅	16,129	424
	計	232,612	1,072

(注) 科学館のドラえもんの科学みらい展は、開催期間末日の属する年度に掲載した。

(単位：人、%)

収支率	共催者	協賛者
42.5	中国文物交流中心、NHK名古屋放送局 NHKプラネット中部、中日新聞社	信越化学工業 大日本印刷 三井住友海上
82.3	日本経済新聞社、テレビ愛知	—
56.1	愛知県教育委員会	—
38.4	愛知県立大学、愛知大学、文化庁	—
50.5	—	—
187.0	名古屋テレビ放送	—
175.1	中日新聞社、中部日本放送	県民共済愛知
179.9	—	—
207.0	中日新聞社	アイシン・エイ・ ダブリュ
119.3	NHK名古屋放送局、NHKプラネット中部 中日新聞社	—
—	あいちトリエンナーレ実行委員会	愛知県医師会始め 15社・団体
36.6	日本経済新聞社、テレビ愛知	—
50.6	中日新聞社	—
123.1	—	—

## (2) 平成26年度

区分	展覧会名	入場者数	
			1日平均
博物館	国際浮世絵学会創立50周年記念特別展 大浮世絵展	70,685	1,443
	幽霊・妖怪画大全集	47,616	1,058
	吉田初三郎のえがいた大正・昭和 NIPPONパノラマ大紀行	14,842	337
	三英傑と名古屋	11,094	358
	感じる縄文時代	11,456	260
	計	155,693	731
科学館	発掘！モンゴル大恐竜展	121,976	1,768
	ドラゴンボールで科学する！	106,746	2,604
	計	228,722	2,079
美術館	マインドフルネス！高橋コレクション展 決定版2014	25,871	517
	挑戦する日本画 ：1950～1970年代の画家たち	13,281	302
	現代美術のハードコアはじつは世界の宝で ある展 ヤゲオ財団コレクションより	10,949	249
	ゴー・ビトゥーンズ ：こどもを通して見る世界展	5,292	136
	だまし絵Ⅱ	117,383	1,893
	計	172,776	723

(注1) 博物館の大浮世絵展は、開催期間末日の属する年度に掲載した。

(注2) 科学館の発掘！モンゴル大恐竜展は、開催期間末日の属する年度に掲載した。

(単位：人、%)

収支率	共催者	協賛者
127.6	国際浮世絵学会、読売新聞社 中京テレビ放送	パナソニック
129.0	毎日新聞社、日本経済新聞社、テレビ愛知	—
76.5	日本経済新聞社、テレビ愛知	—
47.2	中日新聞社、日本経済新聞社	愛知トヨタ自動車
30.8	南山大学人類学博物館	—
94.8	—	—
144.7	モンゴル科学アカデミー古生物学センター 読売新聞社、中京テレビ放送	ダイワボウ情報システム
131.4	中日新聞社、東海テレビ放送	—
136.8	—	—
89.6	中日新聞社	—
50.0	中日新聞社	—
59.2	中日新聞社、東京国立近代美術館 ヤゲオ財団	—
19.9	読売新聞社、美術館連絡協議会 中京テレビ放送	ライオン始め5社
125.7	中日新聞社、東海テレビ放送	積和不動産中部 トーエネック
78.9	—	—

## 17 他都市の博物館・科学館・美術館の来館者数について

### (1) 博物館

(単位：人)

区 分	館 名	来館者数	
			常設展・企画展・特別展
横 浜 市	横浜市歴史博物館	189,262	127,893
京 都 市	—	—	—
大 阪 市	大阪歴史博物館	368,518	294,875
神 戸 市	神戸市立博物館	464,885	463,619
名 古 屋 市	名古屋市博物館	426,518	200,351

### (2) 科学館

(単位：人)

区 分	館 名	来館者数
横 浜 市	はまぎんこども宇宙科学館	295,485
京 都 市	京都市青少年科学センター	103,556
大 阪 市	大阪市立科学館	709,818
神 戸 市	バンドー神戸青少年科学館	341,723
名 古 屋 市	名古屋市科学館	1,394,003

(3) 美術館

(単位：人)

区 分	館 名	来館者数	常設展・企画展・特別展
横 浜 市	横浜美術館	529,748	435,675
京 都 市	京都市美術館	656,154	322,813
大 阪 市	大阪市立美術館	579,513	289,640
神 戸 市	小磯記念美術館	40,469	26,092
名 古 屋 市	名古屋市美術館	273,428	259,334

